

林業ミニ情報 No.147

平成30年5月

- 1 「カスミ共感創造の森」第8回植樹祭が開催される！1
(笠間林業指導所 菊池)
- 2 (株)森のソーラー ソーラーシェアリング竣工式について2
(土浦林業指導所 柳澤)

H30.普及ミニ情報(平成30年5月)

(笠間林業指導所 菊池正浩)

タイトル	「カスミ共感創造の森」第8回植樹祭が開催される!
年月日	平成30年5月12日(土)
場所	笠間市大字泉「愛宕山」
内容	<p>いばらき協働の森パートナーズ協定(株式会社カスミと森林所有者、いばらき森林づくりサポートセンター(公益社団法人茨城県緑化推進機構)の3者で締結)に基づき、愛宕山に整備された「カスミ共感創造の森」では、10ヘクタールの山林内で毎年約1ヘクタールの植樹や保育等の森林整備が行われています。</p> <p>当日は、株式会社カスミの会長や社長をはじめ、来賓の県議会議長、県農林水産部長、笠間市副市長のほか、カスミ社員、笠間市新採職員、県内の森林ボランティアやボーイスカウト、ガールスカウトなど、一般の参加者を含め総勢700人が参加し、当指導所職員等の指導の下、ヤマザクラ、コナラ、エンジュ、スギ、ヒノキなど15種、約3,000本の苗木の植樹を行いました。</p> <p>また、株式会社カスミでは新入社員研修の一環として、男性新入社員が第1回(平成23年)に植樹したヒノキの枝打ち作業も行いました。</p> <p>参加者からは、「自然の中で植樹体験ができとても気持ちが良かった。」「植えた木の生長が楽しみです。景色も良いので観察しに来ます。」との声が聞かれました。</p>  <p>植樹の様子</p>
普及成果等	当林業指導所では、このような環境保全活動に精力的に取り組む企業に対して引き続き支援することで森林整備を推進するとともに、広く一般県民の森林整備に対する意識の醸成を図っていきたいと考えています。

H30.普及ミニ情報(平成 30 年 5 月)

(土浦林業指導所 柳澤詩織)

タイトル	(株)森のソーラー ソーラーシェアリング竣工式について
年 月 日	平成 30 年 4 月 26 日 (木)
場 所	つくば市下別府地内
内 容	<p>現在、太陽光パネルの下で農作物を栽培する、いわゆるソーラーシェアリングの取り組みが広がってきています。元来、風通しが良く、直射日光が当たらない林内などに伏せ込みを行う原木しいたけ栽培は、ソーラーシェアリングと相性が良いと考えられ、県内でも導入が検討されてきました。この度、原木しいたけ生産者で構成する(株)森のソーラーが、県内 3か所でソーラーシェアリングによる原木しいたけ栽培を開始し、その一つである管内のつくば市下別府地内において竣工式が行われました。</p> <p>当日は竣工式の後、施設の見学会がありました。ほど場面積は約 500 m²であり、特徴としては雪害などに耐えられるように、柱は鉄パイプを 4 本 1 組とし、トラス形状の梁を用いるなど、十分な強度を確保した構造となっています。また、パネルを支える柱の間隔は 5 m と農業用機械が十分出入り可能な広さとなっています。さらに、四方を寒冷紗で覆いやすいように、外側に出張りのない構造となっています。</p> <p>この施設の所有者の話では、どの程度温度が上がるのかがまだ分からないので、自分では低めに原木を積もうと考えているが、それでも 8 千本程度は入ることでした。また、売電収益は原木しいたけの加工品開発などに充てられる予定です。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内部の様子</p> </div> </div>	
普及成果等	全国的に見ても、原木しいたけ栽培におけるソーラーシェアリングの取組は新しく、通常の施設栽培と比べたしいたけの収穫量や、どの程度の経済効果が見込めるのかなど、新たな原木しいたけ栽培の手法として、今後も情報収集を続けたいと考えます。